



【クンツァイト】

紫の深みに淡き桃色の光を宿せる石あり。朝の光を浴びれば淡く紫がかり、夕映えに染まりては薔薇の輝きを添うなり。

この石を手にする者は、穏やかなる癒しとともに、清らかなる心の目覚めを得ると伝えられしものなり。気高きたたずまいは、高貴の証と仰がれ、その神秘的な輝きは、まさに魂の奥にひそむ静寂へと誘うがごとし。

時の流れにそっと寄り添いながら、変わらぬ美しさをたたえ、今もなお人々の心を惹きつけてやまぬ。

Kunzite



$\text{LiAlSi}_2\text{O}_6$

